

第3回 西ノ島町総合振興計画策定審議会 議事録

1. 開催概要

日 時 令和6年10月23日（水）14:00~17:00

会 場 西ノ島町役場 2階 議場

参加者

【委員】20名中17名の出席

【事務局】

所 属	職 名	氏 名	備考
西ノ島町 政策企画課	課 長	桶谷 昌史	
西ノ島町 政策企画課	係 長	木村 龍士	
西ノ島町 政策企画課	主 任	阿川 満美	

【調査委託会社】

所 属	氏 名
(株)エブリプラン	鶴見、寺本、川谷

2. 議事次第

1) 開会

2) 会長あいさつ

3) 議題

- (1) 本日のテーマについて
- (2) 前回の振り返り
- (3) 総合振興計画・総合戦略の構成について
- (4) 基本構想（案）について
- (5) 基本施策の検討状況について
- (6) 今後取り組むべき施策についてのグループワーク
- (7) 人口ビジョンの検討状況について

4) 閉会

3. 配布資料

次第

策定体制・スケジュール、本日のテーマ【資料 1】

前回の審議会・検討委員会の振り返り【資料 2】

総合振興計画・総合戦略の構成イメージ【資料 3】

基本構想（案）【資料 4】

人口ビジョンの検討状況【資料 5】

（参考）西ノ島町 人口ビジョン（資料編）

4. 議事録

1) 開会

事務局より、9 月に開催を予定していた審議会が延期となった理由について説明した。また、委員の出席について、3 名が欠席、出席者数が定足数を満たしていることを報告した。

2) 会長あいさつ

会長より挨拶を行った。内容は以下の通り。

発言者	要旨
会長	お忙しい中お集まりいただき感謝する。本日は、前回までに皆様からいただいた意見を踏まえて、事務局より基本構想の案を示し、基本政策の検討へとする。基本構想は今後 10 年を見据えた総合振興計画の核となるものであるため、意見をいただきたい。

3) 議題

事務局より、議題（1）～（4）について、配布資料 1～4 に沿って説明を行い、意見交換を行った。質疑・意見は以下の通り。

発言者	要旨
委員	資料の見方が分からない。どのように見たらよいか。
事務局	前半 4 つは検討委員会で検討した案。最後に示している案が、前回までの成果として今回提案しているものである。
委員	「あんきに暮らせる『わがとこ』づくり」とあるが、福祉の分野では具体的に何を指すのか。令和 3 年からも大きな変化があり、変化に対してどのように対応するのか。必要な医療・福祉にアクセスできる、心身ともに健康に暮らせる状況をどのように実現するか。島前病院の病床数、特別養護老人ホームのベッド数が減少する中で、「必要な福祉にアクセスできる」ようにするために

	何をするのか。この後のグループワークの中で、具体的に何をしたらよいか議論をするのか、これで仕方ないと現状を認めて進めていくのか。
事務局	具体的な施策に関する意見については、この後のグループワークで議論していただきたい。「あんきに暮らせる『わがとこ』づくり」について、今までの住民アンケートからも、西ノ島のよさはあんきなところと意見をいただいている。世の中の状況が変わる中、今までの「あんき」が変化しているという危機感もあり、苦しみながらも「あんき」を守っていかないといけないと考えている。病床数に関する指摘があったが、そういった具体の事象の中で、状況を受け入れざるを得ない場合もあるが、単にあんきに暮らすことを謳うのではなく、これからどのように守ることができるのか、今後 10 年間の施策として考えていきたい、ワークの中でも意見をいただきたい。また、言葉については、役場の計画として、広義に言葉を置き換える場合があることもご理解いただきたい。
委員	今後の具体的な施策についての議論の進め方について聞きたかったが、先ほどの回答で理解した。また、学校教育に関わる方針 3 の 2 点目について、自然環境だけでなく、歴史や文化についても追加してもらえるとよい。自然環境だけでなく、歴史文化を守り継承することも必要である。また、その観点を追加すると、学校教育だけでなく、方針 2 の社会教育にも関連してくる。また、SDGs の視点も入れることができる。「住み続けられるまちづくり」として捉えるのであれば方針 2 か、「海や山の豊かさを守る」とすると方針 3 か。
事務局	歴史や伝統の観点について、意見を反映したい。施策の掲載は、複数の方針に関連する場合もあるため、再掲での扱いの可能性も含め整理を行う。また、SDGs の観点についても、同様に検討する。
委員	島留学生や若い I ターン者、30～40 代の方から、西ノ島はいいところだが面白くないといわれる。音楽や演劇に触れる機会がないとの指摘がある。この問題をずっとおさなりにしてきた。ノアホールに集う機会もない。原案の方針の中にないが、文化・芸術を楽しむ機会づくりを盛り込んでほしい。欠落すると若い人が定着しない。ぜひ計画に入れてほしい。
事務局	方針 2 の 2 点目に含んでいると認識している。社会教育活動や、生涯学習活動への支援として取り組む必要があると考えている。文化芸術活動も幅が広い。役場としての取組もちろんあるが、「わたしがつくるみんなの『わがとこ』」と将来像にもあるように、民間の活動の支援もしたい。文化芸術活動に関する取組について、そのような意図が読み取りやすいような表現にしたい。
委員	必要な医療福祉へのアクセスについて、各事業所でできることにも限りがあり、行政や住民と一体となって取り組んでいるということをご理解いただきたい。「じょんじょん」案が差し戻しとなった経緯について、詳細を聞きたい。

事務局	「じょんじょん」という言葉は、浦郷地域の言葉であり、皆が分かる言葉ではないため、都度言葉の説明が必要になるという指摘や、言葉がくだけすぎているのではないかという懸念があった。
委員	方針１の２点目に、子育てだけでなく、結婚・出産もパッケージとして入れてはどうか。
事務局	現在も婚活事業に取り組んでいるが、結婚しない、子どもを持たないという選択も尊重したい。子育て支援のパッケージの一環として、引き続き結婚・出産に関する取組は行っていく。
委員	文字が大事になる。選択の自由を考慮しつつも、計画は表に出るものであるため、メッセージが伝わるような表記になるとよい。
事務局	前回の計画では、少子化対策、子育て支援という分野に結婚の推進を含んでいた。施策としてどのように打ち出すとよいか整理したい。
委員	病院として踏ん張りどころだと考えている。看護師不足などもあり、体制が弱くなっている。地元の人の高齢化や退職、若い人はＩターンでの就業が多いことなどから、方針２の移住定住、プロモーション、方針３の学校教育にも関係する。方針を横断するような施策の扱いについて、現時点で分かりづらいがどのようにしていくか。横のつながりもみえるとよい。
事務局	移住定住に関して、移住促進ツアーを行う。今までは職種で限定することがなかったが、今年度から、医療や介護など、分野を絞って募集をしている。役場はセクションごとに事業に取り組むが、それぞれの課題などを共通認識として持ち、病院とも連携を取りながら取組を進めていきたい。
委員	これは案とあるが、何もなければこのまま進むと思う。前回の議会でも、町の職員の研修体制についての指摘があったが、各事業所が人材に関して苦労している。人材確保のためには研修体制が必要である。施策分野について、言葉を加えるなど、後のグループワークで提案してもよいのか。
事務局	ここで示しているのは、施策分野でジャンルであり、この下に施策として行財政の改革など、必要だと思う施策をグループワークで提案してほしい。研修については、各事業所で必要な研修を考えるとよい。経費面で支援策が必要であれば意見をいただきたい。
委員	方針１～３が縦串だが、次代を担う人材育成・確保の推進や、持続可能なまちづくり、共同体の形成など、複数方針に該当するものは横断的なものとして横串を差すような構想にしてもよいのではないか。
事務局	総合戦略に、横断的な取組を反映できると考える。一方で、役所の業務としては、施策の分野が固定している方が、業務が進捗する場合もある。計画での表記の仕方は今後検討するが、共通認識として持つべき課題や、役場内でのコミュニケーションの重要性について認識しており、いただいた意見も踏まえて、

	計画の作成、進行管理、施策の推進を図りたい。
委員	実際の業務としては課ごとに動くと思うが、町民にとっての分かりやすさも重要である。1枚の概要版として、横断的な施策の概念図などがあると分かりやすい。住民参画のまちづくり実現するためには、行政にとっての分かりやすさだけではなく、一般の方にも分かりやすい計画でないといけない。
委員	基本理念が上手にまとまっているというのが率直な意見。理念が明確で要点を押さえている。基本方針について、今後10年の中では、「スマート化」を入れてほしい。交通インフラや、農業のスマート化、ロボットの導入なども進んでいる。九州フェリーでは、チケット予約のスマート化により、人件費の削減や、人員配置の最適化を実現していると聞く。人口が減少する中で、置き去りにできない課題である。どの方針に入れるのが適切か分からないが、「スマート化」も入れるとよい。
事務局	スマート化について意見を反映したい。どの分野にも関わることであるため、整理が必要。
委員	村上委員の横串の考えが腑に落ちた。あったらよいと思う。役場としての働き方が縦軸になるのは理解するが、人材確保など、横断的な重要テーマとして掲げられていると、職員の意識や視点も変わるのではないかと考える。
事務局	現在も、人口減少対策が1番の課題であるという認識は職員で共有して業務を進めている。意見を受け止めて、計画に反映したい。
委員	計画が途中で実態に合わなくなった場合、どのように見直していくのか。
事務局	将来像は10年間通した考え方であるため、将来像と方針については現時点で、見直しを行う予定はない。個別の施策については、進捗管理の中で、都度見直ししながら進めていく。
委員	「あんき」という言葉によい印象を受けない。元気がある西ノ島などがよいのではないか。
事務局	「あんき」は安心という意味で捉えているが、マイナスな意味で使われることがあることも理解している。ただ、住民アンケートや審議会の中でも、リラックスやウェルビーイングが重視されており、「あんき」という言葉が挙がっていた。「あんき」を西ノ島の魅力として捉え、言葉はこのまま進めさせていただきたい。
会長	基本構想案について、審議会として概ね了承ということで意見をまとめてよいか。 →了承を得た。

続いて、事務局より、議題（５）について説明を行った。

また、議題（６）について説明を行い、グループに分かれて議論をした。グループワークの後、全体共有を行い、賛同・共感する意見の付箋に、一人６票のシール投票を行った。各グループで出された意見については、以下の通り。（下表の「施策分野」は、各グループから出された意見を事務局で便宜上分類したもの）

方針１ あんきに暮らせる「わがところ」をつくる

施策分野	取組アイデア	得票数
健康・医療・福祉	介護・福祉の見直し。社会福祉法人の合併の推進。	2 票
	健康体操に参加する。(各地区)※歩くだけでも身体に良い！	2 票
	病院と福祉施設がいっしょになる	-
	40 代くらいからの健康づくり（認知症とか介護予防）	-
	役場の方が昼休みに総合公園が使えない(プール・体育館等)	-
子育て	子育て世帯の移住	3 票
	子供の遊び場の整備 ※保育所・学校の遊具、場所の解放	3 票
	子守制度	-
交流・コミュニティ	様々な世代がつながる場をつくる	7 票
	地区の活動に働いている人も参加しやすくする	-
道路・上下水道・交通	町民が安心して生活できるインフラとしてデマンドタクシーの創設をしてもらいたい。	1 票
	ライドシェア or 自動運転バス	-
	病院直通バス	-
	道路の穴が埋まらない。側溝が土でいっぱい（だれに言えば…）	-
情報通信	IT 化・スマート化の推進のための支援。官民一体の体制づくり。	4 票
	どこに住んでも快適なネット環境がある	-
	キャッシュレス 現金を持ち歩かないで何でも出来る	-
	DX	-
	スマート化	-
防災・防犯	治安のイイ日本の中でも、もっと安全安心な町である	-
その他	島外との連携	5 票
	<u>方針 1 ～ 3</u> <u>横ぐし</u> 次代を担う人材の育成と確保の推進	5 票

	役場の課のカベを越えて、横断的にイニシアチブをとっていく課を新設する（個業では進みにくいところをぐっとすすめるために）	4 票
	保育園、小中学校、福祉の給食センターを集約してほしい。各センター調理員不足のため。	3 票
	<u>方針 1 ～ 3</u> <u>横ぐし</u> 先端技術を取り入れた持続可能な町づくり（スマート化）	1 票
	3 島の結び付きが必要	1 票
	働きやすい職場づくり（長く働いてもらう）	-
	集合注文の仕組み	-
	インターンシップの導入	-
	<u>“本気”での取り組み</u> 「町民に当事者意識をもってもらって参画してもらうには」どうわがとことして捉えてもらうか？（痛みをとまうかもしれないが） なのでアピールが大切 ・分かりやすい示し方 ・A4 1 枚で見える化（概要）など	-

方針２ 活気あふれる「わがところ」をつくる

施策分野	取組アイデア	得票数
産業	特色ある農林水産業の基盤の強化（畜産、漁業）	6 票
	「雇用したい」と「働きたい」をつないでくれる場所が必要 （問い合わせなくても分かる）	3 票
	西ノ島にお金を落としてくれる仕組み	1 票
	仕事がある町	-
	まき網船団の船だまりの新設	-
	人材確保	-
観光	寺・神社を観光に	4 票
	観光誘致に島前 3 島の結びつき（ジオパーク）	3 票
	隠岐世界ジオパークの活用ツアー ニッチな観光客向け（大規模な観光ツアーのみをターゲットにしない）	1 票
	戦略的な観光の推進	-
	観光地整備	-
起業・新産業	新しい産業、リモートワークがしやすい町（インフラ整備、リ ラックス、安心して暮らせる） こんな働き方ができることを知らせる	-
社会教育・生涯学習	文化・芸術の鑑賞の機会づくりのための文化芸術財団の支援	1 票
	生涯学習体制システムの構築	-
移住定住	住宅の拡充 I・U ターンへの入り口 1) アパート 2) 空き家	8 票
	居住を増やす 行政主導 民間支援（補助金）	1 票
	移住促進ツアー。福祉・病院その他も喰いつけるよう紹介し て（牛飼希望者 1 人でも歓迎）	1 票
	行政、地区との連携と役割分担の整理	-
	若い人の定住。仕事はあるでも何が不足。	-
	不動産屋がない	-
	漁師が優先して住める住宅。漁民住宅の新規建設してほしい	-
	住宅の確保。空き家のリフォーム。	-

	☆不動産屋、それにかわる組織	
	住宅の確保	-
プロモーション	西ノ島産のおみやげが…	1 票
	西ノ島だからできる楽しみの発信	-
その他	人口に比例してスマート、コンパクト化	5 票
	島民が外に出て交流	2 票
	スマート化	2 票
	DX	1 票
	若者の遊べる場所の増加	1 票
	ライブ・コンサートのような大きなイベント開催	1 票
	生産年齢人口の維持 ・ 結婚相談 ・ 一人暮らし生活者同士の交流事業 ・ 島留学生受け入れの住居の整備	-
	観光の活性化のため企業版ふるさと納税の活用	-
	島外の人が働きに来ること。良い？悪い？	-
	意外と近場の人（ex 松江）は隠岐に来た事がない	-
	風と（海ち）土と	-

方針3 「わがとこ」の魅力を未来に受け継ぐ

施策分野	取組アイデア	得票数
学校教育	次代を担う人材を育てる <u>教育環境の充実</u> 予算、人材	5 票
	子供達に未来の選択肢にしてみよう具体的な生活	1 票
	世代をこえた学ぶ場をつくる	1 票
	職場体験	1 票
	起業家教育	-
	西ノ島を盛り上げている人を知る学習（語る、体験する、交流する）	-
文化・ふるさと教育	☆地域クラブの設置（文化芸術、ICT、スポーツ、伝統芸能） ☆地域の子どもは地域で育てる環境⇒次代につながっていく	4 票
	ふるさと教育 先生方は週末帰っちゃうね、島内で遊べない？	2 票
	伝統・文化の担い手育成（十方拝礼、庭の舞、神の相撲、精霊船、祭、かぐら）とか ☆経験する場 ☆やりたいときに、やれる場	2 票
	歴史、文化を伝える、保存調査の充実	-
自然環境・エネルギー	太陽光発電設置	-
行財政	人材育成のための研修、システム作りの支援	4 票
	DX（デジタルトランスフォーメーション）	2 票
	企業版ふるさと納税活用	-
	スマート化	-
その他	高校生までの医療・学費・給食の無償化	1 票
	生涯スポーツの場づくり（健康にもつながる）	1 票
	西ノ島の魅力＝島前の魅力（学校）	-

事務局より、議題（7）について、配布資料５に沿って説明を行った。質疑・意見は以下の通り。

発言者	要旨
委員	過去のデータに基づいて推計していると思うが、数値は結果である。推計にあるような結果にならないためにはどうしたらよいかを考えているという認識でよいか。
事務局	ご認識の通りである。社人研の推計よりも改善する方向で目標設定しており、目標達成に向けて具体的な取組を検討し、実行していくことになる。

4) 閉会

事務局より閉会の挨拶。内容は以下の通り。

- ・今回出た意見を基に基本施策を検討していく。
- ・次回の審議会は 11 月～12 月開催予定。

以上